

大阪大学
大学院情報科学研究科
令和4(2022)年度4月入学
博士前期課程 学生募集要項
(学部3年次学生を対象とする特別選抜)

この募集要項は、令和4年4月入学博士前期課程に関する7つの入学試験のうちの○印に該当します。

	入学試験の名称
	令和4(2022)年度博士前期課程(一般選抜)
	令和4(2022)年度博士前期課程(社会人対象特別選抜(情報基礎数学専攻))
	令和4(2022)年度博士前期課程(推薦入学特別選抜)
○	令和4(2022)年度博士前期課程(学部3年次学生を対象とする特別選抜)
	令和4(2022)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・夏季)
	令和4(2022)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・12月)
	令和4(2022)年度博士前期課程(インフォメーションテクノロジー-英語特別コース)

令和3年3月

【注意事項】

出願者は、事前審査の申請前に、出願に必要な授業科目の修得を確認するために、志望する専攻の専攻長に必ず連絡をとってください。

専攻長の連絡先は、情報科学研究科ホームページで調べてください。

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

1. 情報科学研究科教育目標等について

〔情報科学研究科教育目標〕

大阪大学は、「知の創造、継承及び実践」を使命とし、「地域に生き 世界に伸びる」をモットーに、学問の独立性と市民性を備えた世界水準の高度な教育研究を推進し、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目的とします。

その目的の実現のため、研究科及び全学的な教育研究組織において、

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識
- 高度な教養
- 高度な国際性
- 高度なデザイン力

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材を育成します。

大阪大学の教育目標のもと、情報科学研究科では、「我々人類が、豊かで充実した社会生活を営むためには、情報技術を核とする知識基盤社会の実現が必要不可欠であり、これを可能にする新しい技術や新しいシステムを生み出し、社会に変革をもたらすための学問が情報科学である」との理念に基づき、情報科学技術に関する最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけ、当該分野を牽引し、新たな学術領域を開拓する技術者、研究者、および、教育者等を輩出することを目的としています。

<博士前期課程>

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識

授業科目及び研究活動により、情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、あるいは多様な応用分野における最先端かつ高度な専門知識ならびに技能を持った人材の育成を目指します。

- 高度な教養

授業科目や研究活動を通して、専門とする分野やその関連分野に関わる広範な教養を持った人材の育成を目指します。

- 高度な国際性

授業科目及び研究活動により、国際的な視野を持って活動できるコミュニケーション力を持った人材の育成を目指します。

- 高度なデザイン力

研究活動を通して、人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力を持った人材の育成を目指します。

授業科目や研究指導により、情報科学は常に人類の幸福につなげるべき技術であるという高い倫理観を持った人材の育成を目指します。

<博士後期課程>

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識

授業科目及び研究指導により、情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、および応用分野における最先端かつ高度な専門知識ならびに技能を持った人材の育成を目指します。

- 高度な教養

授業科目及び研究指導を通して、専門とする分野やその関連分野に関わる広範な教養を持った人材の育成を目指します。

○高度な国際性

国際性涵養科目及び研究指導により、国際的な研究活動ができるコミュニケーション力を持った人材の育成を目指します。

○高度なデザイン力

演習やセミナー科目及び研究指導を通して、当該分野において自ら設定した課題を探究できる研究能力を持ち、人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力を持った人材の育成を目指します。

授業科目や研究指導により、高い倫理観と世界的な視野で技術者・研究者を先導するリーダーシップ力を持ち、プロジェクトやビジネスプロジェクトを率いることが人材の育成を目指します。

【情報科学研究科学学位授与の方針】（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能、教養、国際性及びデザイン力を身につけ、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で審査及び試験に合格した学生に学位を授与します。

（学習目標）

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を有している
- ・課題解決のために最先端かつ高度な知識・技能を活用できる

○高度な教養

- ・高度で幅広い知識を有している
- ・複眼的、俯瞰的に思考し、多角的に評価できる

○高度な国際性

- ・異なる言語・文化を深く理解できる
- ・言語・文化の相違を超えて広く交流できる

○高度なデザイン力

- ・社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題を発見し、解決の道筋を構想できる
- ・社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題の発見・解決のために、様々な分野の人と協働できる

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、情報科学研究科の博士前期課程および博士後期課程では、以下のように、体系的なコースワークにより所定の単位を修得した上で、必要な研究指導を受けて作成した学位論文を提出し、要件を満たす学生に、博士前期課程では修士（情報科学、理学、または工学）を、博士後期課程では博士（情報科学、理学、または工学）を授与します。

<博士前期課程>

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・当該分野に関する十分な学識を有している
- ・専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための最先端かつ高度な知識・技能を身につけている

○高度な教養

- ・修士学位論文を明瞭かつ平明に記述することができる
- ・職業人さらに社会人としての高い倫理観や専門性を社会で生かすための高度な教養を身につけている

○高度な国際性

- ・専攻分野において、国際的な視野を持ってコミュニケーションできる学力、コミュニケーション力を有して

いる

○高度なデザイン力

- ・修士学位論文に専攻分野の発展に貢献する研究内容が含まれている

<博士後期課程>

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・修士学位論文の学術内容を含む分野に関する最先端かつ深い学識を有している
- ・専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための最先端かつ高度な知識・技能を身につけている

○高度な教養

- ・修士学位論文が明瞭かつ平明に記述することができる
- ・職業人さらに社会人としての高い倫理観や人類の幸福に資する研究開発を立案するための高度な教養を身につけている

○高度な国際性

- ・独立した研究者として世界的な視野で研究を遂行できる学力、コミュニケーション力を有している

○高度なデザイン力

- ・修士学位論文が、情報科学技術の学術領域において、未知の事象や事物の発見、新しい理論の構築と展開、新しい技術、機器、手法ならびにアルゴリズムの開発や発明と応用、新しい学問的概念の提出など、学理とその応用に関する重要な貢献を果たしている

〔情報科学研究科教育課程編成・実施の方針〕（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などを修得させるために、専攻分野に関する科目並びに高度教養教育及び国際性涵養教育に関する高度な授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業と優れた研究指導を行います。

また、試験及び審査により学修成果を厳格に評価します。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、情報科学研究科の博士前期課程および博士後期課程では、以下のように教育課程を編成しています。

<博士前期課程>

<教育課程編成の考え方>

情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークのために、専攻ごとの専門性を獲得するための基礎科目のほかに、周辺の重要分野を網羅した境界横断的な科目を配置しています。また、分野横断型融合科目や、産業界などの外部から講師を招いて最新の技術動向をカバーする特別講義科目、国内外の企業や研究機関へのインターンシップ科目、プロジェクト型演習科目など実践力を育てる科目を配置しています。さらに、高度な教養のために他専攻、他研究科等の科目を配置しています。国際性の涵養については、海外インターンシップ科目や世界の最先端研究を理解できるセミナー科目などを配置しています。このような専門教育・高度教養・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

<学修内容及び学修方法>

講義を主体とする基礎科目、境界横断的科目、分野横断的科目や特別講義科目、実地体験を主体とするインターンシップ科目、学生の自主的な学びを特に求めるプロジェクト型演習科目やセミナー科目、さらに研究指

導により、高度な技術者・研究者としての素養が身に付くように配慮するとともに、社会の多様な要請に対応した幅広い知識を修得できるようにしています。

<学修成果の評価方法>

シラバスに記載されている学習目標の達成度に対して、試験や課題、レポートなどの相応しい方法を用いて、厳格に評価します。

<博士後期課程>

<教育課程編成の考え方>

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化させる体系的なコースワークのために、最先端の科学・技術を修得できる専門科目に加え、国内外の企業や研究機関等へのインターンシップ科目などを配置しています。国際性の涵養については、海外インターンシップ科目や世界の最先端研究を理解できるセミナー科目などを配置しています。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

<学修内容及び学修方法>

専門科目は内容に応じて、講義またはセミナー形式で実施します。インターンシップ科目は、実地体験を主体とし、事前学習、事後発表を行います。セミナー科目では学生が特に自主的に活動します。これらにより、新しい学術的価値を生み出す能力を養います。また、それを活用して新しい社会的価値を創出できる人材の育成を行います。

<学修成果の評価方法>

シラバスに記載されている学習目標の達成度に対して、試験や課題、レポートなどの相応しい方法を用いて、厳格に評価します。

博士前期課程・後期課程を通じて、留学生のために英語で学修できる情報科学英語特別コースを設置しています。留学生以外の学生もこのコースの科目を履修することができ、国際性を涵養することができるようにしています。

【情報科学研究科の入学受け入れの方針】（アドミッション・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学士課程又は修士課程・専門職課程における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を有し、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を広く受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な観点からの評価を行います。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、国内外を問わず、より高度な情報社会の実現を可能にする情報科学技術の確立と深化を担う意欲を持った学生を受け入れます。このため、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人を受け入れます。さらに幅広く人材を求めるために、情報科学技術以外の分野を学んできた人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を積極的に受け入れます。これらのために、学力試験、面接試験などによる多様な選抜試験を実施しています。

情報科学研究科の博士後期課程では、国内外を問わず、より高度な情報社会の実現のために情報科学の学術

領域にイノベーションを創起する意欲を持った学生を受け入れます。このため、理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、既にこれらの研究科を修了し、社会のさまざまな分野で活躍しながら、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人を受け入れます。さらに幅広く人材を求めるために、情報科学以外の研究科等に在籍する人や、社会人で情報科学に関して勉学や研究に取り組む意欲がある人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を積極的に受け入れます。これらのために、学力試験、面接試験などによる多様な選抜試験を実施しています。

2. 募集人員

専攻名	募集人員
情報基礎数学専攻	若干名
情報数理学専攻	若干名
コンピュータサイエンス専攻	若干名
情報システム工学専攻	若干名
情報ネットワーク学専攻	若干名
マルチメディア工学専攻	若干名
バイオ情報工学専攻	若干名

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 令和4年3月31日までに、我が国の大学又は専門職大学に3年以上在学する者であって、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者
- (2) 令和4年3月31日までに、外国において学校教育における15年の課程を修了する者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了する者又は我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。)の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了する者で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を令和4年3月31日までに授与される見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者

(注) 大学に4年以上在学し、令和4年3月に大学を卒業見込みの者は、本選抜の対象者に該当しません。

4. 出願方法

専攻名	志望専攻
情報基礎数学専攻	1専攻を選んでください。
情報数理学専攻	
コンピュータサイエンス専攻	

情報システム工学専攻	5専攻のうちから、1つの専攻を第1志望とし、残り4専攻から、第2志望、第3志望の専攻を選ぶことができます。
情報ネットワーク学専攻	
マルチメディア工学専攻	
バイオ情報工学専攻	

(注) 試験科目で「情報工学」を選択した者は、受験票送付時に同封する「配属希望研究室調査票」に、入学願書に記入した第1～第3志望専攻までを再度記入して提出する必要があります。(入学願書に記入した第2～第3志望専攻名は受験票下部に表示されています。)

5. 出願資格審査

この出願資格の認定は、次のとおり事前審査を行います。

事前審査で出願資格を認められた者は、事前審査で合格した専攻を第1志望として出願してください。

(1) 事前審査を受けるための基礎資格

次の各条件をすべて満たしていること。

- ① 令和4年3月31日までに、我が国の大学又は専門職大学における在学期間が3年以上となる者、外国において学校教育における15年の課程を修了する者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了する者又は我が国において外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。)の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了する者、外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者、のうちいずれかに該当する者
- ② 必要な授業科目を修得している者

(注) 必要とする授業科目は各専攻により異なりますので、申請時に当該専攻長に照会してください。
専攻長の連絡先は、本研究科のホームページで調べてください。

URL: <http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

(2) 事前審査の申請方法

申請書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、申請書類等を一括して封筒(角形2号(33×24cm))に入れて、提出期間内に**必着**するように郵送してください。

封筒の表に「**博士前期課程(学部3年次対象特別選抜)出願資格審査申請**」と朱書きしてください。

提出期間	令和3年5月31日(月)～令和3年6月4日(金)
申請書類	出願に要する書類等一覧に記載の No. 1～No. 4
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

但し、やむを得ず持参する場合は、次の期間内に封筒(角形2号(33×24cm))に入れて、大学院係へ提出してください。

令和3年6月2日(水)～令和3年6月4日(金)	9:00～11:30、13:00～16:00
-------------------------	------------------------

(3) 事前審査の結果通知

事前審査の結果は、令和3年6月15日（火）に郵送します。届かない場合は、出願期間に間に合うように大学院係へ問い合わせてください。

6. 出願手続

出願書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、出願書類等を一括して封筒（角形2号（33×24 cm））に入れ、出願期間内に**必着**するように郵送してください。

封筒の表に「**博士前期課程（学部3年次対象特別選抜）出願書類**」と朱書きしてください。

出願期間	令和3年6月28日（月）～令和3年7月2日（金）
出願書類	出願に要する書類等一覧の No. 5～No. 11
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

但し、やむを得ず持参する場合は、次の期間内に封筒（角形2号（33×24 cm））に入れて、大学院係へ提出してください。

令和3年6月30日（水）～令和3年7月2日（金）	9:00～11:30、13:00～16:00
--------------------------	------------------------

受験票は、令和3年7月9日（金）に郵送します。7月16日（金）までに届かない場合は、大学院係まで連絡してください。

7. 検定料

30,000 円

支払場所 最寄りの銀行窓口（但し、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。）

なお、ゆうちょ銀行は利用できません。

支払方法 本研究科所定の振込用紙を用いて指定口座に振り込んでください。

振込手数料は振込者負担です。

銀行から収納印をうけた**検定料振込証明書**を所定用紙に貼付のうえ、提出してください。

もしくは、検定料納入システムを利用し、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済等により検定料を納入することも可能です。詳細は本研究科ホームページ（トップページ/入試情報/令和4年度（2022年度）学生募集要項）に掲載の「入学検定料支払いの流れ」を参照してください。

なお、国費外国人留学生は、大学院係までお問い合わせください。

また、大規模災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。

詳細は本研究科ホームページ（トップページ/入試情報）に掲載の「大阪大学入学者選抜における検定料免除について」を参照してください。

検定料免除を申請する場合は、検定料を払い込まず検定料免除申請書等必要書類を提出してください。

8. 選抜方法

選抜は、学力試験、出身（在籍）大学の成績証明書及び TOEIC 等の成績等を総合して行います。（情報基礎数学専攻は、TOEIC 等の成績を除く。）

学力試験は、筆記試験及び口頭試問により行います。

情報基礎数学専攻を除くその他6専攻の志願者は、TOEIC 公開テストの成績を提出してください。情報数理学専攻の志願者は、TOEFL の成績でも可能であり、その他5専攻の志願者は、TOEIC の成績の提出が困難な場合には、TOEFL の成績でも提出可能です。

TOEIC 等の成績は、出願時あるいは入学試験初日に原本を提出してください。写しは不可です。出願時に提出した場合でも入学試験初日の再提出を認めます。

出願時に TOEIC 等の成績を未提出の者及び出願時に提出し再提出する者は、入学試験初日に各試験室において、試験監督者の指示により成績原本を提出してください。

(1) 第1次試験

第1次試験に関する時間等の詳細は、受験票送付時に通知します。

試験日時	情報基礎数学専攻	筆記試験	令和3年 7月31日(土)	10:00~16:30
		口頭試問	令和3年 8月 1日(日)	9:00~
	情報数理学専攻	筆記試験	令和3年 7月31日(土)	9:00~
		口頭試問	令和3年 8月 1日(日)	10:00~
	その他の5専攻	筆記試験	令和3年 7月31日(土)	9:00~
		口頭試問	令和3年 8月 1日(日)	12:00~
試験場所	情報基礎数学専攻	吹田地区 情報科学研究科、コンベンションセンター 口頭試問の受験場所は、専攻ごとに異なります。		
	情報数理学専攻			
	コンピュータサイエンス専攻			
	情報システム工学専攻			
	情報ネットワーク学専攻			
	マルチメディア工学専攻			
	バイオ情報工学専攻			

(注) 詳細は、別紙を参照してください。

(2) 第2次試験

令和4年2月末に書類審査を実施します。

第1次試験合格者は、令和3年10月15日(金)までに、3年次の春学期~夏学期までの成績証明書及び3年次の秋学期及び冬学期の履修科目届を大学院係に提出してください。

9. 合格者発表

下記の日程で、吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表のうえ、合否通知書を郵送します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには応じません。

第1次試験合格者発表	令和3年 8月16日(月) 14:00~
第2次試験合格者発表	令和4年 3月 4日(金) 14:00~

10. 入学時に必要な経費

入学金 ……282,000円

授業料 ……535,800円(年額)

入学後、半期分(267,900円)ずつ口座振替により納入することとなります。

- (1) 入学金、授業料の額は、令和3年4月現在のものです。これらは改定することがあります。
令和4年度の必要経費は、入学手続時まで別途お知らせします。
- (2) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 入学後、国費外国人留学生として在学する場合には、入学金、授業料は不要です。

1 1. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、合格者の個人情報は合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムを案内するために利用することがあります。

また、入学者の個人情報は、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。

1 2. 注意事項

- (1) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として、令和3年6月4日（金）までに大学院係へ連絡してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は原則として受理しません。
- (3) 出願手続後は、いかなる事情があっても願書記載事項の変更は認めません。
- (4) 入学手続は、令和4年3月10日（木）～3月11日（金）に行います。詳細は、合格者に対し後日通知します。
- (5) 令和4年3月31日までに入学資格（大阪大学大学院学則第20条）を満たさない者は、入学許可を取り消します。
また、入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 本研究科博士前期課程に入学するために学部3年次で退学する者は、合格者発表後速やかに、所属大学（学部）に「退学」手続きを行ってください。なお、「退学」した場合は、各種国家試験の受験資格で大学卒業が要件となっているものは、受験資格がないので、十分に留意してください。
- (7) 令和4年4月に本研究科博士前期課程に入学した者は、卒業証明書（早期卒業者のみ）又は退学証明書のいずれかを提出してください。
- (8) 振り込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。
① 出願したが、受験資格がなかった場合
② 出願書類受付期間終了後に書類が到着したため、受理されなかった場合
③ 出願書類に不備があり、受理されなかった場合
④ 検定料を払い込んだが、本研究科に出願しなかった場合
⑤ 検定料を、誤って二重に振り込んだ場合
⑥ その他、大学が返還を認めた場合
上記の場合は、返還請求を行ってください。返還請求の方法は、本研究科大学院係までお問い合わせください。
- (9) 不測の事態に伴う入学試験実施への影響と対応は、必要に応じて本研究科ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。
- (10) 情報科学研究科の博士前期課程の入学試験は、当該入学試験の他「一般選抜」「推薦入学特別選抜」「外国人留学生対象特別選抜」「社会人対象特別選抜（情報基礎数学専攻）」「インフォメーションテクノロジー英語特別コース」があります。
- (11) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、本募集要項記載の内容から変更することがあります。最新の情報は、本研究科ホームページにて適宜確認してください。

令和3年3月

《問い合わせ先》

大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号

電話: 06-6879-4508・4509 (直通)

E-mail: office@ist.osaka-u.ac.jp

情報科学研究科ホームページ

URL: <http://www.ist.osaka-u.ac.jp/>

出願に要する書類等一覧

● 出願資格審査の必要書類

No.	書 類	内 容
1	成績証明書	大学長・学部長が証明したもの
2	在学証明書	学年が明記されているもの
3	在籍大学の学部・学科の履修要覧等	本学在籍者は提出不要です。
4	志望理由書	所定の用紙に必要事項を記入してください。

● 出願時の必要書類

5	入学願書、 受験票・写真票	入学願書に必要事項を記入し、受験票・写真票に写真を貼付して提出してください。 願書には、原則として戸籍に記載の氏名（外国人の場合は住民票又は旅券（パスポート）に記載の氏名）を記入してください。 また、記入の際、消すことができるボールペンは使用しないでください。
6	TOEIC あるいは TOEFL の成績 (TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用控えスコアレポート)	<p>(情報基礎数学専攻の志願者) 英語の筆記試験を実施しますので、提出する必要はありません。</p> <p>(情報数理学専攻の志願者) TOEIC 又は TOEFL のどちらの成績でも可能です。 令和元年7月以降の TOEIC 公開テストの公式認定証 (Official Score Certificate) または TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) を出願時あるいは入学試験初日に提出してください。写しは不可です。TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) は、オンライン上でのスコアレポートではなく、郵送で受験者の手元に届くスコアレポートが必要です。TOEIC-IP テスト、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test、及び TOEFL-ITP テストは認めません。入学試験初日の再提出を認めます。 詳細は本研究科ホームページ (トップページ/入試情報/ニュース&トピックス) に掲載の「令和4年度入学 (令和3年度10月入学を含む) 大学院入試・英語試験についてのお知らせ」を参照してください。 なお、令和元年8月以降の TOEFL iBT テストのスコアについては、Test Date スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest スコアは活用しません。</p> <p>(コンピュータサイエンス専攻・情報システム工学専攻・情報ネットワーク学専攻 マルチメディア工学専攻・バイオ情報工学専攻の志願者) 令和元年7月以降の TOEIC 公開テストの公式認定証 (Official Score Certificate) を出願時あるいは入学試験初日に提出してください。写しは不可です。TOEIC の成績の提出が困難な場合は、令和元年7月以降の TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) でも可能です。TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) は、オンライン上でのスコアレポートではなく、郵送で受験者の手元に届くスコアレポートが必要です。写しは不可です。TOEIC-IP テスト、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test、及び TOEFL-ITP テストは認めません。入学試験初日の再提出を認めます。 詳細は本研究科ホームページ (トップページ/入試情報/ニュース&トピックス) に掲載の「令和4年度入学 (令和3年度10月入学を含む) 大学院入試・英語試験についてのお知らせ」を参照してください。 なお、令和元年8月以降の TOEFL iBT テストのスコアについては、Test Date スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest スコアは活用しません。</p>

7	住民票又は在留カードの写し 日本語能力についての 証明書	日本に在住する外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。日本人は提出不要です。 *出願者以外の世帯員については、証明不要です。 (注) 法務大臣が日本での永住を認めた者は、提出する必要はありません。 また、日本語能力についての証明書 (様式随意) も提出してください。
8	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は提出してください。但し、本学に在籍中の者は提出不要です。
9	検定料振込証明書 又は検定料収納証明書	事前に、検定料 30,000 円を指定口座に振り込みのうえ、検定料振込証明書を所定用紙に貼付してください。 必ず、銀行窓口で振込を行い、ATM (現金自動預払機) は利用しないでください。 検定料納入システムにより納入する場合は、検定料収納証明書を提出してください。 検定料免除を申請する場合は、検定料を払い込まず、検定料免除申請書等必要書類を提出してください。
10	封筒 (受験票送付用)	角形 2 号封筒 (33×24 cm) に志願者の住所・氏名を明記し、140 円分の切手を貼付してください。
11	発送票	所定の用紙を提出してください。

(注) 日本語・英語以外の証明書、文書、資料等については、日本語又は英語訳を添付してください。

I 試験科目

専攻名	試験科目
情報基礎数学専攻	<p>【筆記試験】</p> <p>① 英語</p> <p>② 数 学</p> <p>【口頭試問】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
情報数理学専攻	<p>【筆記試験】</p> <p>情報数理学</p> <p>http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/research/majors/ips/を参照、又は、情報数理学専攻長までお問い合わせください。</p> <p>【口頭試問】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
<p>コンピュータサイエンス専攻</p> <p>情報システム工学専攻</p> <p>情報ネットワーク学専攻</p> <p>マルチメディア工学専攻</p> <p>バイオ情報工学専攻</p>	<p>【筆記試験】</p> <p>情報工学</p> <p>専門科目 [必須問題]</p> <p>1 アルゴリズムとプログラミング アルゴリズム設計、手続き型プログラム、計算量、データ構造、再帰、整列アルゴリズム、探索アルゴリズム</p> <p>2 計算機システムとシステムプログラム 計算機システム分野： 数の表現、演算制御、命令実行制御、記憶制御、入出力制御 システムプログラム分野： プロセス管理、処理装置管理、記憶管理、入出力管理、ファイル管理</p> <p>専門科目 [選択問題] 以下の5科目から2科目選択</p> <p>1 離散構造 集合・命題、関係、漸化式、論理関数、ブール代数、最簡積和形、命題論理、述語論理、導出原理、グラフ</p> <p>2 計算理論 語・言語、有限オートマトン、正規表現・言語、形式文法とそのクラス、導出・認識・構文解析、文脈自由文法・言語、プッシュダウンオートマトン</p> <p>3 ネットワーク 情報源符号化・通信路符号化、階層化モデル、プロトコルとインターフェース、各層プロトコルの設計・仕様・評価手法、ネットワークアプリケーション</p>

	<p>4 電子回路と論理設計 ダイオード・トランジスタ、MOSFET、アナログ電子回路、演算増幅器、記憶素子、数の表現、論理代数と論理関数、組合せ論理回路、順序回路、算術演算回路</p> <p>5 数学解析と信号処理 微分方程式、フーリエ級数、ラプラス変換、複素関数、信号の演算、連続時間信号のフーリエ解析、サンプリング、離散時間信号のフーリエ解析、Z変換、フィルタ</p> <p>【 口頭試問 】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
--	---

(注) 受験者控室は、受験票送付時に通知します。

II 試験時間割

試験室及び口頭試問についての詳細は、受験票送付時に通知します。

● 情報基礎数学専攻

試験日	試験科目	試験時間	
令和3年 7月31日 (土)	筆記試験	英語	10:00 ~ 12:00
		数学	13:30 ~ 16:30
令和3年 8月 1日 (日)	口頭試問	9:00 ~ (受験者控室に集合してください。)	

● 情報数理学専攻

試験日	試験科目	試験時間	
令和3年 7月31日 (土)	筆記試験	情報数理学	9:00 ~ 12:00
令和3年 8月 1日 (日)	口頭試問	10:00 ~ (受験者控室に集合してください。)	

● コンピュータサイエンス専攻

情報システム工学専攻
情報ネットワーク学専攻
マルチメディア工学専攻
バイオ情報工学専攻

試験日	試験科目	試験時間	
令和3年 7月31日 (土)	筆記試験	情報工学	9:00 ~ 12:00
令和3年 8月 1日 (日)	口頭試問	12:00 ~ (受験者控室に集合してください。)	